

県内工芸の輸送機産業等に対する製品に関する試験・研究開発

－研ぎ出し変り塗の製品開発研究（第9報）－

Study on utilization of Aomori craft technology in transportation industry
－ Developing new Tsugaru-nuri products for use in building interior materials (9th Report) －

小松 勇、鳴海 藍、濱田 圭

本研究では、津軽塗の特性データを取得し、技術普及により県内企業に新市場参入の醸成を図り大手企業への情報提供を行うことで、津軽塗の新市場参入を目指す。昨年度は、令和元年度から3年度に実施した JIS (K 5600) 塗料一般試験方法に則った津軽塗の特性試験結果をもとに、津軽塗の性能的価値を提示する資料を作成し、首都圏の建築や輸送機に関わる大手6企業に送付した。

本年度は、特性データを踏まえた建材2種15点、輸送機小物6種11点の試作品をまとめた「津軽塗試作品カタログ（図1）」を作成し、前述の6企業と県内2企業に送付した。さらにデータ集、カタログ、試作品を伴って訪問展示を打診し、承諾を得た県外2社、県内2社で実施した（写真1）。いずれも試作品を観察し触れてもらいながら津軽塗の概要と特性を説明した。企業の担当者からは「津軽塗の表現の広さや、繊細で力強い美しさに驚き、印象が変わった」「富裕層のお客様においては、他とは違うものや、その物の背景やストーリー性を重視される方もいる」「今後、弊社内で論議になった際は、津軽塗の可能性を提案したい」などの好意的な意見を得た。

研究は本年度終了するが、研究で得たネットワークを継続し、新分野への参入に努める。

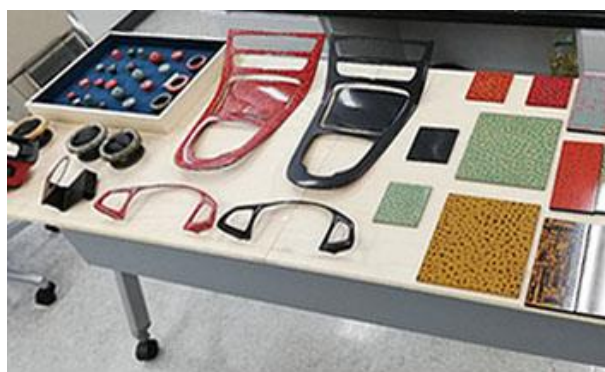


写真1 訪問展示風景

図1 企業向け資料
「津軽塗試作品カタログ」

